ほくとライブラリー

新屋図書館だより

発行：秋田市立新屋図書館
秋田市新屋大川町 12－26　☎ 018－828－4215
https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848

No. 227
R2. 12月号

年末年始の休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
12/13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1/1	2
3	4	5	6	7	8	9

12月28日（月）から1月4日（月）までの間、秋田市立図書館は全館休館いたします。
（フォンテ文庫をのぞく）
返却は入口右側のブックポストをご利用ください。
かぞくぶっくぱっく、大型絵本、CDまたはCD・DVD等の付録がある本は返却できません。
1月5日（火）以降にご来館ください。

かぞくぶっくぱっくを借りてみよう！

かぞくぶっくぱっくの中身が新しくなったよ！
どんな本に出会えるかわくわくするね！

貸出冊数も１０冊に増えたから、一度に2ぱっく借りることもできるね！何を借りようか迷った方はぜ

新　刊　案　内

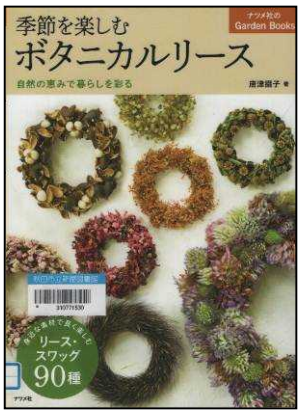
中小企業・支援者のための　ものづくり補助金申請ガイドブック

大西　俊太／著
税務経理協会　　請求記号　335．35　（　補助金　）

これまで補助金とは無縁だった人も、このコロナ禍で必要に迫られる場合もあるかもしれません。補助金が全ての人に向いているとは限りませんので、適さない場合もしっかりと把握したうえで、申請の準備から採択後の事業化までを順序立てて説明します。令和２年度の制度変更に対応。

季節を楽しむボタニカルリース

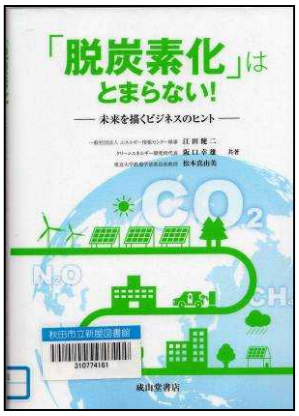
唐津　攝子／著
ナツメ社　　請求記号　627．9　（　リース　）



クリスマスシーズンになると真っ赤なリボンがついた華やかなリースが町を彩りとても素敵ですが、身近にある植物や、花が散ったあとの萼（がく）や茎、一般に雑草と呼ばれる植物も、よく見ると本当に魅力にあふれた美しさがあります。自然の恵みで暮らしを彩ってみませんか。

「脱炭素化」はとまらない！未来を描くビジネスのヒント

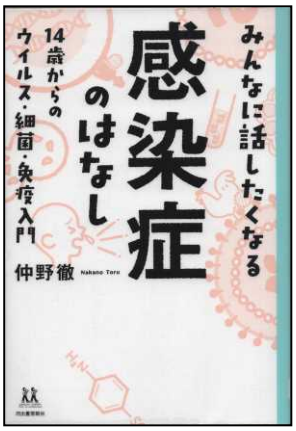
江田　健二、阪口　幸雄、松本　真由美／共著
成山堂書店　　請求記号　501．6　（　エネルギー　）



世界各国で目立つようになった「脱炭素化」への動き。３人の著者が豊富なデータとともに異なる立場から自身の考えを解説します。日本の取り組みや導入した場合のメリット・デメリットも紹介しつつ、持続的な実現を可能にする方法を探ります。

みんなに話したくなる感染症のはなし

１４歳からのウイルス・細菌・免疫入門
仲野　徹／著
河出書房新社　　請求記号　49　（　感染症　）※小学校高学年以上



感染症の主な原因である「ウイルス」と「細菌」そして、体内で働く「免疫」について紹介している本です。大学教授である著者が、新型コロナウイルスについても、どんなウイルスなのか、ＰＣＲ検査とはどんなものなのかなどを、分かりやすく解説します。

図書館員（佐藤　美郷）のおすすめ本

書　　名	だれも知らないサンタの秘密
著 者 名	アラン・スノウ／さく　三辺　律子／やく
出 版 社	あすなろ書房
所　　蔵	新屋、明徳、土崎、イソップ、雄和、河辺
	請求記号　Ｅス　（　絵本　）※５歳ころから

もうすぐ待ちに待ったクリスマス。サンタさんにどんなプレゼントをもらえるかな？と今からワクワクしている子どもたちも多いと思います。でも、サンタさんはどうやってみんなの欲しいものをリサーチしているのでしょう？

また、「いい子にしていないとプレゼントをもらえない」と言うけれど、いい子かどうかどうしてわかるのでしょう？

この本は、そんな謎だらけのサンタさんの秘密を、細かく解説してくれています。

例えば、「サンタクロースはどうやって、いい子を見わけるの？」のページでは、“ＣＩＡ”と呼ばれるクリスマス情報部が…おっと、これ以上はぜひ、自分で確かめてみてくださいね。クリスマスが何倍も待ち遠しく、楽しくなりそうな一冊です。

図書館員（長井　友希）のおすすめ本

書　　名	食事作りに手間暇かけないドイツ人、手料理神話にこだわり続ける日本人
著 者 名	今村　武／著
出 版 社	ダイヤモンド・ビッグ社
所　　蔵	新屋
	請求記号　３８３．８３　（　食習慣　）

ドイツの食習慣「カルテス・エッセン（冷たい食事）」。夕食は基本パンとバター。そこにサラダやチーズ、ハムが準備されるだけで済まされます。和食の一汁三菜の基本からすると信じられないくらい質素です。ドイツの家庭って愛情不足なんじゃ…？いえいえ、料理をしないから台所はピカピカで生ごみが出ない！つまりは家事よりも家族で過ごす時間を大切にしようという優しさがあるのです。ドイツ人らしい合理性ですね。

一方で日本人の料理は凝っているし、きれいな盛りつけで愛情を表現する傾向にあります。でも時間に追われがち。この本はそんな日本人にドイツ人的な生き方を提案しています。どちらが正解というわけではないけれど、家事に疲れたときの拠り所となるかもしれません。

記事になったお酒の話題あれこれ・・・北海道の酒・・・

“北の大地・北海道”と聞けばおいしい食べ物が思い浮かびますが、かつては２７０か所も酒蔵があった“酒造王国”だったそうです。今では１３蔵ほどしか残っていませんが、“酒造王国”の復権を目指して次々と酒蔵を新設しているとのこと。

そんな中、上川大雪酒造が帯広畜産大学構内に作ったのが、全国で初となる学内酒蔵「碧雲蔵（へきうんぐら）」。杜氏の川端氏が客員教授となり、醸造学や後進の育成も行うそうです。日本酒好きとしては、ぜひ酒造りを盛り上げて、おいしいお酒をばんばん世に出してほしいと願うばかりです。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の資料コーナーがあります。

【参考資料】
日本経済新聞
２０２０年１０月１６日

今、あなたへ　・・・冬の夜長にマンガを・・・

秋の夜長と言いますが、冬もまだまだ夜が長く、あっという間に明るい時間が過ぎてしまう時期が続きます。「まだまだ感染症も気になるし、寒くて日も短いから家にいることが多いけど、文字だけの本を読もうと思うとちょっと腰が重い…」そんな方は、文字と絵でさまざまな物語を紡ぐマンガの世界へ足を踏み入れてみてはいかがでしょうか。

『人生と勉強に効く　学べるマンガ１００冊』（佐渡島　庸平・里中　満智子ほか／著、文芸春秋）
『マンガホニャララ』『マンガホニャララロワイヤル』（ブルボン　小林／著、文芸春秋）

上記３冊はマンガではありませんが、「なにを読んでいいのか迷う」という方の参考になる、マンガの紹介本です。**『学べるマンガ１００冊』**は、「文学」「歴史」といった学校の時間割のような１１のテーマを設け、それぞれを豊かに学べるマンガを紹介しています。**『マンガホニャララ』『マンガホニャララロワイヤル』**は、コラムニストのブルボン小林さんのコラム集。３ページほどのコラムの中に古今東西のマンガが縦横無尽に引用されているので、見てみたい！と思える作品がひとつは見つかるのではないでしょうか。巻末に作品名と人名の索引があるのも便利です。

図書館員のひとりごと

最近は朝晩もすっかり冷え込むようになり、数か月前までの暑さはいったいなんだったのか…と服を着込みながら遠い目をしてしまいます。

毎年この時期になると気になってくるのは、「冬にどれくらい雪が降るのか」ということ。除雪の大変さを思うと、できれば去年のようにほとんど降らないで冬が過ぎてほしい…と思いますが、ここ最近の気候の変動を体感していると、はたしてそれで大丈夫なのだろうか…と心配になる気持ちもあります。

今年は適度に寒く、適度に雪が降ってくれるといいのですが…。　（鎌田）

最近の天気はめまぐるしく変化します。晴れていると思えば、急に曇ってきて雨。さらには、雷が鳴り出し、嵐になることも。そうかと思えば、また日が差して青空に。本当に、この時期の天気は気まぐれです。

こんな天気には、虹をよく見かけます。１日に数回見たこともあります。時には、面白い虹に遭遇することも。天まで届くような大きな虹、地面すれすれの低い虹、直線の虹、二重の虹、等々。

不安定な天気でも、虹に出会うと、何故か幸せな気持ちになるのは、不思議です。

（清水）